

東京都新春水泳競技会参加条件および厳守事項

1. 感染症予防ガイドラインを再度確認し、確実に実行することを参加条件とする。ガイドラインおよび要項等に記載の注意事項に違反した者または団体は即刻退場処分とする。
2. 大会参加の最終判断は本人またはその保護者が行うこと。また、参加団体はその意向を確認し、辞退者がいる場合は指定書式（辞退届）にて東京都水泳協会に申告すること。申告された辞退者の参加費は手数料を差し引いて参加団体に返金する。ただし、事前申告がない棄権者の返金はしない。また、辞退申請は参加団体を通して行うものとし、参加者個人からの申請は受付ない。

【提出方法】

指定書式を下記メールアドレスに添付送信すること。

oc@tokyo-swim.org

【提出締め切り】

1月8日（金）18時必着

東京都新春水泳競技会 追加要項

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2020年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、すべてタイムレース決勝とし、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) FINA(国際水泳連盟)公認の水着を着用すること。招集所で承認マークを確認する。
承認マーク剥がれが生じた場合は「FINA マーク剥離による確認票」を招集時に持参すること。
- (4) 競技を棄権する場合の棄権届の提出は不要とする。
招集所での点呼で出席を確認できない選手は棄権として取り扱う。
- (5) スタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただし、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。
- (6) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。バックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技

役員に申し出ること。また、バックプレート、バックストロークレッジを調節する前後は手指消毒を行うこと。

- (7) 800m・1500m 自由形における周回通知は周回板を使用し、コールは行わない。
- (8) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (9) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。

2. 招集について

- (1) 招集は、電光掲示および通告で集合を指示する。指示の前に招集所への移動は控えること。
- (2) 招集所では、マスクを着用し十分な対人距離を保つこと。
- (3) 招集前に自身が出場する組とレーンを確認すること。
- (4) 招集所に貴重品を持ち込まないこと。
- (5) 招集所の位置および順路は、別紙「会場図」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 本大会において種目別順位表彰は行わない。
- (2) 世界新記録、日本新記録、東京都新記録(いずれもタイ記録を含む)を樹立した場合は、新記録証の授与式を行う。

4. AD カードについて

- (1) AD カードは各団体にホームページよりダウンロードして承認印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。(A4 サイズでプリントし、4 分割して使用する。プリントはモノクロでも可)
- (2) 選手 AD は大会期間中選手 1 名につき 1 枚とし、必ず記名すること。
- (3) 引率者 AD は 1 団体 1 枚の基本 AD に加え、出場選手 5 名につき 1 枚追加できる。ただし、基本 AD と合わせて合計 5 枚を上限とする。
- (4) 引率者 AD は、団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) AD カードは、記名されている選手または引率者専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時 AD カードを携行すること。
- (7) AD カードを収納するケースは各自用意すること。
- (8) 大会日の体温と体調を必ず記入すること。(2 日目のみの出場であっても 1 日目の記入必須)
- (9) 出場最終日の退場時に AD カードを退場受付に提出すること。

5. 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書(様式 A-01)は、各団体にホームページよりダウンロードして出場選手および引率者に配布すること。(必ず指定の様式をダウンロードし、A4 サイズでプリントすること)
- (2) 本追加要項「15 大会参加にあたっての同意事項について」に記載の各事項に同意した者に限り会場への入場を許可する。同意事項をよく確認の上、同意欄に署名すること。未成年者は保護者の署名を必須とする。

- (3) 大会 14 日前からの体温と体調を正確に記載すること。
- (4) 健康管理表兼参加同意書は、選手・引率者問わず全ての入場者において提出を必須とする。大会参加の初日に入場受付に提出すること。
- (5) 本大会において、スマートフォンアプリ (SwimmingTown) は利用できない。

6. 入退場について

- (1) 午前 7 時 15 分に開場し引率者 AD カード所持者の入場を許可する。選手は出場種目開始の 90 分前を目安に入場を許可する。

(注意) 必要以上に早く来場しないこと。

入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。

- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。(別紙「会場図」を参照)
- (3) 入場の手順は以下のとおりとする。

AD カードチェック

検温

- ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い 1 列でカメラの前を通過すること。
- ・37.5 以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

健康管理表兼参加同意書提出 (出場初日のみ)

- ・記入漏れがないか事前に確認すること。
- ・健康管理表兼参加同意書は、あらかじめ手元に用意しておくこと。

入場許可スタンプ

- ・AD カードに許可スタンプを押印する。入場時の際、AD カードはケースから取り出しておくこと。

- (4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
- (5) 出場種目終了後、45 分以内を目安に退場すること。
- (6) 出場最終日の退場時に AD カードを退場口の受付に提出すること。
- (7) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

7. 控え場所について

- (1) 控え場所は観覧スタンドのみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) スタンド 1 階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 赤テープが貼られた席は着席を禁止とする。(対人距離確保のため)
- (5) 敷物やテント類はいかなる場所にも設置できない。
- (6) トレーナーズベッドの使用はできない。
- (7) **会場内での食事は一切禁止する。飲料は各自専用のペットボトルまたは水筒等を使用し回し飲みは絶対にしないこと。**

8. 更衣室について

- (1) メインプール更衣室を利用すること。入退室はプール側の出入口のみとする。
- (2) 更衣室では更衣のみ行い、荷物を放置しないこと。ロッカーの利用はできない。
- (3) 更衣室内の扇風機(サーキュレーター)は、換気のために調整済みであるため、向きを変えたり移動しないこと。

9. プールの使用について

- (1) 混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと。
- (2) 監督・コーチによるホイッスルの使用を禁止とする。
- (3) メインプール

水深2m、水温28.0度に設定する。

ウォーミングアップは、競技開始の20分前(A面)、30分前(B面)までとする。

ウォーミングアップ時のダッシュレーンは、A面1レーン・8レーン、B面1レーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、利用人数に応じてダッシュレーンを増やす場合がある。

公式スタート練習は行わない。

パドル・コード類の使用は禁止する。

(4) サブプール

水深1.2~1.4m、水温28.5度とする。

1~2レーンを女子専用、5~7レーンを男子専用、3レーンを国際専用、4レーンはペースレーンとする。

飛び込みは禁止とする。ダッシュレーンは設けない。

パドル・コード類の使用は禁止とする。

ホイッスルの使用は禁止とする。

(5) ダイビングプール

レース直後のダウンプールとして使用のみとする。

国際選手に限り、競技開始時刻までウォーミングアップ利用を認める。

10. 監督者会議について

監督者会議は行わない。

11. 参加標準記録超過について

- (1) 参加標準記録の超過が発生した場合、当該選手が所属する団体の責任者が大会本部にて、1種目あたり超過料1,500円を大会期間中に支払うこと。なお、大会期間中に超過料の支払いがなかった場合、超過料とは別に延滞金とし1,500円を加算して団体宛に請求する。
- (2) 超過料は当該選手本人ではなく、エントリーを行った参加団体に課す。
- (3) 当該選手が所属する団体への超過料支払が免除される場合について
2019年11月1日以降の公式競技会及び公認競技会からエントリー時点(エントリー締切日)に

て、参加標準記録を上回る実績があり、それを証明できる場合、超過料支払いは免除する。なお記録の証明は、公益財団法人日本水泳連盟公認サイト「スイムレコードどっとこむ」または「スイムレコードモバイル」を参照し、所定の報告書を大会本部に提出すること。

12. 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

13. YouTube の配信について

全競技 YouTube で映像配信する。

「かわずちゃんねる」 <https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>
機材トラブル、インターネット環境の都合等により配信が中断または中止となる場合がある。

14. 競技結果（速報）について

- (1) 会場で競技結果の貼りだしは行わない。
- (2) 競技結果はプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

15. 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会への参加辞退要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後 14 日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場辞退となった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

16. その他

- (1) 熱中症に注意すること。
こまめな水分補給を心掛けること。
ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (3) プールサイドは室内履きに関し限り使用を認める。

- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物は、受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 会場内外での所属ミーティングは禁止する。
- (10) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (11) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

17. リレーオーダーについて

- (1) リレーに出場する団体は、下記の時刻までに指定のリレーオーダー用紙をコンピューター室に提出すること。時間までに提出がないチームは棄権とみなす。
- (2) リレーオーダー用紙はホームページからダウンロードし、各団体が持参すること。
(A4でプリントし2分割・白い用紙でプリントすること)
- (3) リレーオーダー用紙提出締め切り時刻(9日・10日共通)
 - 12歳以下 9:00
 - 13歳以上 14:00

18. 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 03-5422-6147 (平日 10時~17時)
大会当日の連絡先 03-5534-6388 (大会当日のみ)